

笠間市・矢板市子ども会交流会開催

笠間市子ども会育成連合会では、毎年、姉妹都市である矢板市の子ども会会員との親睦を深めるために「笠間市・矢板市子ども会交流会」を実施しています。

今年は、6月3日（日）に笠間の子ども会会員（市内小学2年生から6年生まで計68名）が矢板市を訪れ、矢板市の子ども会会員と一緒に尚仁沢ハイキングや木工コースター制作を行いました。子どもたちはすぐにうちとけ合い、自然の雄大さを肌で感じながら『世界にひとつしかないコースター』を作成しました。交流会に参加した子どもたちの笑顔が印象的でした。



▲木工コースターづくり



▼尚仁沢ハイキング

第12回全国こども陶芸展inかさま

「第12回全国こども陶芸展inかさま」が開催されます。今年も全国から1,300点以上の応募があり、力作ぞろいの中から特に優れた150点の入賞作品を展示します。ぜひ子どもたちの力作をご覧ください。

会期：8月2日（木）～31日（金）

午前9時30分～午後5時

※月曜日は休館

（最終入館は午後4時30分。8月2日（木）は午前11時開幕）

場所：茨城県陶芸美術館・県民ギャラリー

※県民ギャラリーは入場無料



市内の小中学生も出品にむけて作品づくりに挑戦しました。



▲消防団夏期訓練（6月10日）

笠間市消防団

市長コラム

笠間市消防団は深谷団長をはじめ、46個分団768名の消防団員が「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域住民の生命、財産を守るために活動しています。火災・自然災害時の出動はもちろんのこと、行方不明者の捜索や年に2回の総合訓練、1月の出初式、消防器具置場点検、消防ポンプ操法大会など年間を通して活動しています。

消防団員の待遇は数万円程度

の年額報酬の外、出動に際しての手当が支給されていますが、現在、全国的に消防団員の不足が大きな課題となっています。団員が集まらずに定員割れを起している消防団が増えてきているのです。笠間市でも定数に対するの充足率は93%であり、各地区では、団員確保が大きな課題となっています。市としては、まずは団員の活動を理解していただくため、消防団の活動をホームページ等で積極的に紹介していきます。皆さんぜひご覧ください。

笠間市長
山口伸樹